

# 令和4年度第2回豊明市スポーツ推進計画審議会会議録要旨

日時 令和5年2月17日（金曜日）  
午前10時00分から午前11時30分  
場所 豊明市役所新館3階 教育委員会室

出席委員：石川委員長、山田富副委員長、緒方委員、円城寺委員、奥村委員、小里委員、谷口委員、藤井委員

事務局：深草生涯学習課長、青木生涯学習課長補佐、大澤

1. あいさつ  
委員長あいさつ

2. 議 題

(1) 第2期スポーツ推進計画の策定について

事務局から第1回審議会から経営戦略会議、他課意見照会、パブリックコメントを経て修正した内容を説明

## 【質疑・意見等】

①	円城寺委員	アンケートの対象者について、前々回と前回は3,000人となっていました。今回は2,500に減らしています。こちらの理由をお聞かせください。 また、回収率が前々回と前回はおおむね50%でしたが、今回は33%と大きく低下しています。この理由についても事務局で推測できればお聞かせください。
	事務局	まず、アンケート対象者数についてですが、年齢や性別などに偏りが無いバランスをとった形で事務局にて配布数の検討を行い、令和3年度のスポーツ推進計画審議会にてお諮りをしました。次回のアンケートの際にも熟慮をしたいと思います。 また、回収率についてですが、今回調査期間を23日としており、前々回の18日、前回の28日と比べても妥当な期間かと思えます。調査期間がコロナ禍であり外出を控えるなどの対策の意識が強まっていた環境下によってのものであるとも推測でき、郵送という手段だけではなく、いくつかの手段も取り入れるべきだったと反省しております。今後のアンケートについては今回の反省を生かし、様々な手法を検討していきたいと思えます。
②	山田富副委員長	前回の計画では具体的な取組のところに担当として色々な課や団体が明記されていましたが、今回は明記しないのですか。
	事務局	最近の事業はいくつかの課や団体との連携のもと進めていくものが多くなっています。また、広く市として各事業を推進していくという思いであえて明記はしませんでした。
③	円城寺委員	前計画において未達だった指標目標の原因を分析し、今計画ではどのように達成させるか、この計画書には載せる必要はありませんが個別に目標を達成するための実行計画を作成し、関係課や関係団体

		と共有をする必要があると思いますのでよろしくをお願いします。
	事務局	事務局や各関係者が意識を持って取り組んでいくためにもそういったものは必要と考えておりますのでそのように進めていきたいです。

(2) 豊明市スポーツ推進計画（後期計画）の最終評価について  
事務局から内容説明

【質疑・意見等】

①	円城寺委員	結果として半分以上の目標が未達となり、自分たちの団体がなにを行っていたのかを考えさせられます。スポーツ協会の長として力になっていきたいので、目標達成のための個別実行計画を立て、各関係者への振り分けをお願いします。
	事務局	これまでは各関係者への落とし込みを行っていなかったところが正直なところではあります。 これからは協力を得るために配慮をしながら進めていきたいと思っております。
②	山田富副委員長	前計画中間評価の数値をみて、認知度は10%から17%と上がってはいたましたがどのような理由で上がったのか正直なところ不明な状態でした。残念ながら今回は17%から11.7%まで減少してしまいましたが、前計画で上がった理由、今回下がった理由を分析していきながら最終目標に近づけていけるように活動をしていきたいと思っています。
	事務局	市としてもスポーツ推進委員の認知度を増加させていけるような取り組みを進めていきたいと考えています。
	緒方委員	スポーツをしたくても何から始めてよいかわからない方もたくさんいると思います。そういった方々のために現にスポーツイベントに参加をしている方々だけではなく、全くスポーツに関連しないイベントに顔を出していただいて、現状スポーツに触れ合っていないけれども興味はあるという人に対してもPRできればとても効果的かと思っております。
	石川委員長	市として現状スポーツ推進委員のPRはどのようにしているのでしょうか。
	事務局	スポーツ推進委員の会議議事録をホームページにアップをしたり、イベントの際のチラシ配布、広報やホームページでのPRを行っています。 また、来年度には広報紙にて特集を組み数ページにわたってスポーツ推進委員の紹介をする企画を進めています。
③	石川委員長	体力テストについて、豊明市の子ども達は全国的にみて低いものが多いですがこれにはなにか要因があるのでしょうか。
	藤井委員	あくまで推測であり、分析したものではありませんが、もともと愛知県が全国でも低い傾向があり、理由として県内市町村は5月にテストを行っていることが考えられます。他県ですと10月や11月に行うところもあり、成長期の子どもたちのこの期間は体力に大き

		な影響を与えます。また、県によってはテストの前に練習をしたりしているところもあるようですのでこれらの理由も本市が低い傾向にある要因でもあると考えられます。
④	緒方委員	スポーツに触れ合う人を増やすためにも、スポーツ施設に子どもなどを送り迎えする人が待ち時間でその施設でスポーツをできるような仕組みができればとても嬉しいです。

(3) その他について

今年度をもって現委員の任期が満了をするため、事務局から委員継続の意向確認を行った。

以上